

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣 (個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
1 団地造成に係る公園整備について	(1) 現在、いくつ公園を管理しているか伺う。 (2) 現状の課題があれば伺う。 (3) 団地造成に係り公園造成が開発者に義務付けられ、管理は市が行っているが、市の管理も限界ではないのか伺う。 (4) これについて今後、地域住民の活用方法や公園の用途変更も含めて対策や支援を考えるべきではないか伺う。			
2 中海振興計画について	(1) 古代出雲歴史博物館では中海と大橋川の結節点である矢田・福富・大井・大海崎が常設展として過去展示されてきた。当時の学芸員さんによれば古代出雲の中心地としてこの地域は欠かせないと言われ、常設展になったと聞いているが、中海振興計画の中で朝酌エリアが考え方として今まで入っていたか伺う。 (2) 次期の中海振興計画の中ではこの朝酌エリアを入れるべきだと思うが考えを伺う。			
3 地方創生推進交付金と拠点整備交付金の活用について	(1) 国の12月補正を睨み、来年2月議会での地方創生推進交付金や地方創生拠点整備交付金の活用について現在のところ、担当部と調整している政策はあるか伺う。 (2) 担当部等の本事業の活用について、企画調整力が担当部課のマンパワーでは限界ではないか？この点を外部民間が企画立案調整委託できる様に予算を拡充していくべきではないか伺う。 (3) 活用については有利な財源があるうちに、スタートアップ事業や公共・商業・観光施設の改修には活用すべきだと思うが見解を伺う。			
4 特別交付税の見通しについて	(1) 決算特別委員会でもあるが、改めて前年度の特別交付税の要求した需要額と配分額を伺う。 (2) 今年度途中ではあるが要求する需要見込額を伺う。			
5 芸術・文化の後継者育成及び環境造成について	(1) 松江駅前で地元作家や高校生たちがアートイベントを開催したが、松江駅前の松江市の市有地やテルサ内において表現の場、またヨーロッパの様に「投げ銭」などによってアートや文化の育成が図れる様に今後どうやって支援をしていくか見解を伺う。			

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣 (個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
6 観光施策について	(1) 光のマスタープランについて、塩見縄手周辺はもちろん宍道湖湖岸の計画を進めるべきであるが考えを伺う。特に安全面から考えても、以前から岸公園や県立美術館前は非常に暗く、うさぎ等のモニュメント等の突起物があるにも関わらず、非常に危険な状態であり、観光地としても相応しくない。対応を望むが考えを伺う。			
7 上下水道局の今年度の事業の状況と来年度に向けての考え方について	(1) 今年度の上下水道工事等の進捗状況を伺う。 (2) 来年度の事業への考え方、課題を伺う。			
8 交通局について	(1) 今年度の路線バス、貸切バス、駐車場などの状況はどうか伺う。 (2) 市民のための公共交通を担う交通事業者に対して、今年度も松江市として適切な支援が必要と考えるが考えを伺う。			
9 市立病院について	(1) 来院が減っているが、病院事業と一体不可分である民間のカフェ、コンビニなどの状況はどうか伺う。市立病院も含めてどういう対応を取っていくか伺う。 (2) 国によるコロナウイルス感染症対策の病床確保対策など病院事業会計を改善させてきたが、今後の病床確保策など国の方針はどうか？ (3) コロナ禍で公立病院の存在価値は見直されたが、国の支援の方向性などはどういう状況か伺う。 (4) AIなどを活用した診療や医療活用について市立病院の現状はどうか伺う。 (5) AIなどを活用した他の診療について着目すべき医療はあるか伺う。 (6) 10年前の質問で述べたが、医療の高度情報化やAI・データサイエンス・細胞研究など新しい知見に伴いEBMの考え方はドクターの経験則にプラスして、より客観性をもって進んでいると感じる。情報リテラシーの高い開業医等も以前より増えており、現在のまめネットの現状、そして今後の課題を伺う。			

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	13	議員名	錦織 伸行	(個人質問)(一問一答方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目		質問要旨				
1	天神川の環境整備により回収された水草、藻類の再利用について	(1) 天神川の環境整備により回収された水草、藻類の再利用について、将来的なプランを伺う。				
2	中心市街地のさらなる商業活性化について	(1) 現在、松江駅から高架下、堅町、天神町、白潟本町と続く歩ける街が形成されつつあるが、さらなる支援策を伺う。				
3	中心市街地の観光イベントについて	(1) 「松江祭鑿行列」の宵宮(前夜祭)と併せて、現在、松江駅前「鳥取しゃんしゃん傘踊り」のコラボが実行委員会形式で試みられようとしている。そうした地域にも観光客にも喜ばれる、新しい観光イベントへの次年度以降の支援の可能性について伺う。				
4	市職員の懲戒処分に関して	(1) 市職員の懲戒規定や処分の在り方について、懲罰査問会の設置の考えはないかを伺う。				
5	安倍元総理の国葬について	(1) 国葬当日の松江市としての「市」としての弔意の表明について伺う。 (2) 半旗、弔旗の掲揚などは検討していないかを伺う。				
6	市職員の町内会、自治会加入について	(1) 現在の市職員の自治会、町内会の加入率(世帯率)は、おおよそどのくらいかを伺う。 (2) 現状は適当と考えるかを伺う。 (3) 今後の在り方を伺う。				

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	14	議員名	森脇 勇人	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目		質問要旨				
1	参議院選挙と合区解消について	<p>(1) 合区解消に向けた現在の国の動きを伺う。また平成30年以降、全国市長会、全国市議会議長会など地方六団体の動きが見えなかったが、9月2日に全国知事会は、国政に県民の意思を十分に反映できず、弊害が出ているとして、憲法改正など抜本的な手段によって解消するよう求める決議をまとめ、衆・参議院議長に提出した、との報道もあったが、現在の地方六団体では国にどのような働きかけをしているのか伺う。</p> <p>改めて、合区前の選挙と比べ投票率が低下している参議院選挙の結果と合区解消について市長の所見を伺う。</p>				
2	国土強靱化事業と境港出雲道路について	<p>(1) 国土強靱化事業も基本計画3年が終了し、昨年からは予算規模15兆円、5か年の加速化対策が国において取り組まれており、地域計画は、全都道府県及び1,688市区町村(約97%)で策定が完了(令和4年5月時点)と伺う。この中には道路ネットワークの機能強化対策が盛り込まれており、境港出雲道路など、まさしく対象になる事業である。松江市に続き、出雲市でも国土交通省から新しく副市長を招かれ、機を得て今後積極的に境港出雲道路に取り組まれるよう感じられる。</p> <p>ア 令和7年までの国土強靱化加速化事業15兆円の間にかような事業を計画路線として行うべきと考えるが、現在の国、県の動向と市長の所見を伺う。</p> <p>イ 松江北道路の計画中のインターチェンジ6か所のうち3か所は平面交差である。将来のことを考えれば立体交差が望ましいが、地元地域はそれでよいという考えなのか、地域の要望の状況と県の対応、市長の所見を伺う。</p>				
3	山陰新幹線・伯備新幹線について	<p>(1) 今年度も要望活動を行ったようだが状況を伺う。</p> <p>ア 中海・宍道湖・大山圏域市長会はもとより、島根、鳥取両県も参加しての要望会は行われているのか伺う。</p> <p>イ 島根県の取組が大変鈍いように感じる。境港出雲道路への考え方もだが、考え方次第では来年の統一地方選挙に大きく影響すると感じる。島根県の取組、市長の取組の考え方を改めて伺う。</p> <p>ウ 木次線など在来線への考え、現在の国の鉄道事業について予算規模も含め市長の見解を伺う。</p>				

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	森脇 勇人 (個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
4	原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法について	<p>(1) この法律における地域振興事業の進捗状況について過去の質問で伺った。現在の状況を伺う。</p> <p>(2) 地域振興計画の県事業、市事業の最終変更年はいつか伺う。</p> <p>(3) 地域振興計画の変更はどのような手続で行われるのか伺う。</p> <p>(4) 現在鹿島町の自治会からは変更の要望はあるのか伺う。</p> <p>(5) 先般、松江市原子力発電所環境安全対策協議会においてテロ対策としてしっかりとした装備をしてほしいとの意見もあった。</p> <p>県では万が一、原子力発電所に対するミサイル攻撃等が行われるような事態になった場合には、迅速に対応できるよう、自衛隊による迎撃態勢及び部隊の配備に万全を期すよう国に要望されているが、市としての対応はどうか伺う。</p>		
5	市内循環交通について	<p>(1) 現在公共交通の検討会議は行われているのか伺う。</p> <p>(2) 平成17年に役割分担として松江市営バスは郊外路線、一畑バスは市内循環線を担ってはという話合いもあったが、一畑バスが市内の団地などを回る12路線を廃止したためにそういったこともできなくなった経緯がある。現在はまさしく一畑バスが郊外の接続路線、市営バスが郊外の団地路線を含む循環線を担っているが使い勝手があまりよくない。</p> <p>ア 松江駅中心の考えや中心市街地バス停のドア・ツー・ドアの考えがバス路線の使いにくさを生じていないか。松江市内の拠点を作りバスターミナル化し、拠点を連携した路線は考えられないか伺う。</p> <p>イ 大手前通り、県庁前から県立美術館、国道9号線、くにびき道路と松江市の中心が4車線化されている。1周5キロ程度だが右回りと左回りの新たな循環線を考えてはどうか。乗り遅れても10分もすれば次のバスが来ればまちあるき観光や市内中心部の車の抑制にもつながる。</p> <p>ウ 桐生市を視察した。官民協力して電動バスを開発しており将来の無人バスなどの参考になった。人口減少区域や単純な路線で松江市も検討してみてもどうか。</p>		
6	地域一体となった観光地の高付加価値化事業について	<p>(1) こういった国の事業については積極的に呼応する必要があると考える。来年度については、今年度事業申請ができなかった施設、また松江市全域で計画申請されていることから3地域だけでなく松江市のあらゆる観光拠点の整備などに活用できると思われる。ぜひとも来年度も積極的な松江市の関与と島根県への引き続いての要望等をしていただきたいと思うが所見を伺う。</p>		

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	森脇 勇人 (個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
6	地域一体となった観光地の高付加価値化事業について	(2) この事業の懸案は、事業採択から約5か月で事業完了しなくてはならない。このため事業を諦める事業者もおられる。これは社会資本整備交付金にも同じことが言えるが、交付金ルールにより延長が許されていないことに原因がある。このことについて市長の所見を伺う。		
7	たばこ税と喫煙場所の設置について	<p>(1) 島根県、松江市の過去5年間のたばこ税の推移を伺う。</p> <p>(2) 市長は禁煙派か分煙派か伺う。</p> <p>(3) 改正健康増進法では、必要な措置が講じられた喫煙場所であれば、第一種施設においては屋外喫煙所、第二種施設においては屋内における喫煙専用室等の設置が認められているはずだが間違いないか。</p> <p>(4) 「松江市たばこ対策推進会議」が年間一、二度開催されているが、どのような内容になっているのか。</p> <p>(5) この内容は改正健康増進法と異なる過剰な内容になっていないか伺う。(一律の敷地内全面禁煙・屋内全面禁煙等)</p> <p>(6) 松江市の公共の場所における屋外分煙施設、屋内分煙施設の設置状況を伺う。</p> <p>(7) 今年1月に総務省自治税務局から各都道府県、都道府県議会事務局、市町村担当課に「令和4年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」事務連絡が行われているが、島根県から「留意事項等」の説明は受けているのか。</p> <p>(8) この中に地方のたばこ税に係る対応として「健康増進法」を踏まえ、受動喫煙を防止するため公共の場所における屋外分煙施設の設置、たばこ税の継続的安定的な確保に資する見込みから屋外分煙施設等の一層の整備を図るためにたばこ税の活用を検討していただきたいとあり、令和4年度の税制改正大綱の中にもたばこ税を使った屋外分煙施設等の整備の促進を求められている。松江市の考えを伺う。</p> <p>(9) 積極的に屋外分煙施設、屋内分煙施設を設置するべきと考えるが所見を伺う。</p>		
8	一次産業に対しての市の考えについて	<p>(1) 松江市の農業について市長の思いを伺う。また、飼料用米や加工用米の買取り制度から高収益作物への転換で影響があるであろう酪農、畜産事業について松江市の展望を伺う。</p> <p>(2) 人口減少著しい半島部での水産事業の在り方について、市長の所見を伺う。</p>		

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	14	議員名	森脇 勇人	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨					
8	一次産業に 対しての市の 考えについて	(3) 今年度も6,000万円以上の森林環境税をいただき森林保全事業の展開が行えるようになったが、林業関係者に対して市としてどのような考えをもって振興しようとしているのか、本来なら様々な会合で市長が述べる機会もあるが、コロナ禍でそういった機会が失われている。改めて市長の思いを伺う。				
9	都市計画事 業と都市計画 税について	(1) 現在松江市において都市計画事業としての整備事業は年間どれほどあるのか伺う。 (2) 松江市の債務は約1,020億円だが、この中の都市整備事業における債務はいかほどか伺う。 (3) 都市計画税の過去5年間の推移を伺う。 (4) 都市計画税は目的税であるが、この税を使っての都市計画事業への予算配分と公債の返還の状況を伺う。 (5) 過去に20年間の農地転用の状況を伺ったことがあるが、平成21年以降の松江市、出雲市の状況と社会動態の変化を伺う。 (6) 線引き制度、都市計画税など税の在り方について変更するべきと考えるが、市長の所見を伺う。				

順序	15	議員名	たちばな ふみ	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨					
1	新型コロナ ウイルスから 市民の命を守 る施策につい て	(1) 政府は6月10日から外国人観光客の受入れを2年ぶりに再開。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、経済をとめないことを優先し、行動制限がない夏となった。市民に自己責任を押し付けることになってしまった結果、第7波は長期化していると言える。改めて検査と隔離が感染症対策の基本であることを確認したい。 ア 市はいつでもだれでも何度でも検査のできる体制を市民に保証する必要があると考える。見解を伺う。 イ 密にならざるを得ない保育園や介護施設での感染拡大を防ぐためには、定期的で頻回な検査を行うこと、検査キットの購入補助やキットの配布などを行うべきと考える。見解を伺う。				

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 15 議員名 たちばな ふみ (個人質問)(一括方式) 質問日(予定) 9月14日</p> <p>1 新型コロナウイルスから市民の命を守る施策について</p>	<p>(2) 医療や介護、保健所などの現場は極めて深刻となった。子どもを取り巻く環境で感染拡大が続き、市民の間で不安が高まった。教職員からは、「感染状況などの情報共有」は対策としてもっとも重要との声がある。プライバシー保護や差別偏見の防止に努めながら、エリアごとの感染状況など必要な事項を公表する必要があると考える。見解を伺う。</p> <p>(3) 市民の行動制限をせず夏休みやお盆休みを過ごしたことについて、現時点での認識を伺う。</p> <p>(4) 経済活動優先の姿勢が医療機関に与えた影響について認識を伺う。</p> <p>(5) 松江市立病院において、クラスターの有無や職員の休業などで通常診療への影響、病院職員の残業はどうか伺う。</p> <p>(6) 市役所職員の保健所への100人規模の応援が続いている。過重労働とならないように配慮をどのようにしているか。7月以降の残業時間はどうか伺う。</p>
<p>2 島根原発2号機再稼働問題について</p>	<p>(1) コロナ感染症第7波は、医療機関を見ても、市役所の状況を見ても災害級である。松江市は2月に島根原発2号機の原子炉設置変更許可に関わって再稼働の事前了解、理解を行ったが、第7波での医療現場、そして市の行政の市民サービスに係る以外の業務を縮小せざるを得ない市職員の状況を見て、改めて伺う。</p> <p>ア 今回の第7波と同様、あるいはそれを超える感染症の流行の中で、原発事故が起きた場合、感染症のまん延で原発事故時に司令塔となるべき行政が機能不全に陥る可能性がある。そんな中で、計画通りの避難が可能か、見解を伺う。</p> <p>イ 病床がひっ迫している中では、避難先でも受入れはさらに困難。避難計画はすでに破綻していると言えるのではないか。認識を伺う。</p> <p>(2) 岸田首相は8月24日に行われた政府のGX実行会議で来年7機の再稼働を目指すなどと表明した。島根原発2号機の審査において中国電力の資質を問う保安規定変更認可の審査、設計及び工事の認可の審査においては簡略化や効率化することなく厳格に行うよう国に求めるべき。見解を伺う。</p>

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	たちばな ふみ	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨				
3	子どもたちに学びの保障を 就学援助制度について	<p>(1) 昨年の11月に、全国的に就学援助制度を受けている方が修学旅行に行くことができない実態があることが分かった。理由として、保護者が事前払いすることが必要であること、特に中学は費用が高く積立が必要などの重い負担が、「参加しない」という実態につながっているのではないかと危惧されている。</p> <p>ア 就学援助を受けている方が修学旅行を欠席する比率は、受けていない方に比べてどうか、また欠席の理由の調査はされているか伺う。</p> <p>イ 保護者が事前払いをしなくて済む方法はあるか。あれば全ての学校に周知し、事務手続や運用の改善が求められる。実態を伺う。</p> <p>ウ 就学援助を受けている児童生徒が、事前払いができない等の保護者の経済状況によって教育の機会が均等に得られないとなると、憲法26条に反することとなるのではないか。見解を伺う。</p>			
4	旧統一協会から市民を守る ことについて	<p>(1) 安倍元首相が銃弾に倒れ亡くなるという痛ましい事件をきっかけに、旧統一協会が世界平和統一家庭連合と名称を変え、活動を続けていること、そして政治や行政との関係を深めていることが明らかになってきた。旧統一協会(世界平和統一家庭連合)は、靈感商法や集団結婚など、社会的に多くの問題を起こし、多数の被害者を生んできた。「信者」に対する高額な献金の強要、正体を隠して行う「伝道」は、裁判でも違法性が指摘されるなど、国民の平穏な生活を阻害する反社会的カルト集団である。被害対策弁護団は、「100万人以上の被害者が過去に面々と見えない形で埋まっている。その救済が精神的にも経済的にもできていないことが安倍氏の事件の一端ではないか」と述べている。旧統一協会は、政治・行政に対しても接近を図っており、市民権を得ようと画策している。</p> <p>ア 市民生活にこうした被害を及ぼす団体に対して支援や後援、委託等を行うことは、反社会的団体へ行政がお墨付きを与えることになり、資金面でも団体を援助し、市民の被害を拡大することにつながると考える。市長の見解を伺う。</p> <p>イ 市が主催のイベントへ旧統一協会や関連団体からの講師派遣、市の審議会等に関連団体の関与、旧統一協会の集会やイベントに対して後援名義の使用許可を行っているかなど、市と当該団体または関連団体との関係を調査し、明らかにすべきと考える。見解を伺う。</p> <p>ウ 今後相談が増加することが予測される。相談体制の強化を適切に図ること、被害を受けた方の救済を適切に行うことが求められる。見解を伺う。</p>			

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	15	議員名	たちばな ふみ	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨					
5 再エネ100%の松江市へソーラーシェアリングについて	<p>(1) 専門家によれば自治体で脱炭素を目指す際努力できる分野として、住宅や建物のゼロエネルギー化、自動車の電動化や走行量の削減、再エネの計画的導入として、駐車場や空き地、耕作放棄地などへの太陽光発電、農地でのソーラーシェアリング、その他風力、小水力、地熱、バイオマス発電の計画的導入だと言われている。その中でソーラーシェアリングの普及について伺う。</p> <p>ア 現在の松江市でのソーラーシェアリングの実績はどのようなか。事業者数、面積などについて伺う。</p> <p>イ 農地法により3年ごとに一時転用届けが必要とされている。太陽光パネルの柱部分の農地の転用だけのために大変手間がかかっていることになる。農業委員会の負担も過重ではないか。改善を国に求めるべき。見解を伺う。</p> <p>ウ 営農型であることの証明資料の提出が求められており、転用申請とともに事務負担がある。事務負担を減らすことでハードルを下げる取組が求められていると考えるがいかがか。見解を伺う。</p> <p>エ ソーラーシェアリングは農地の保全にもなり多面的役割もある。多面的機能支払交付金を活用するなど、初期投資を補助するなどして推進してはどうか。見解を伺う。</p>					

順序	16	議員名	舟木 健治	(個人質問)(一括方式)	質問日(予定)	9月14日
質問項目	質問要旨					
1 不登校支援について	<p>(1) 児童生徒への対応についての研修について</p> <p>ア 生徒指導担当者や管理職への研修内容をすべての教職員のものとし、実践できる力を身につけていくためにどのような対応策がとられているか問う。</p> <p>イ 学級担任と面会や話ができないケースに対して、児童生徒や保護者に対してアンケートやタブレット端末による実態把握はされたか。されたのであれば、その取組について、されていなければなぜできなかったのか見解を問う。</p>					

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	舟木 健治 (個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
1 不登校支援について	<p>(2) 不登校児童生徒の教育を受ける権利の保障について</p> <p>ア サポートワーカーや学習相談支援員のサポートを継続的に受けた児童生徒数、青少年相談室、青少年支援センターに通所していた児童生徒は何人で、それは不登校児童生徒全体の何%に当たるか。反対に支援の手の届かなかった児童生徒は何人で何%かを問う。</p> <p>イ 回答いただいた支援の到達状況について、教育委員会としてどのようにお考えか見解を問う。</p> <p>ウ 現在青少年相談室は市内に1か所しかなく、地理的にも通えないという児童生徒はたくさんいる現状に対して、学校復帰を前提としない公的施設を子どもの居場所として市内各所に設置する考えはないか見解を問う。</p> <p>エ 学校に代わる子どもの居場所を提供している民間施設に対して、日頃から情報交換し、要望や援助の必要性などを聞き取り、松江市として公的に支援される考えはないか見解を問う。</p>			
2 教職員の労働安全衛生体制について	<p>(1) 今般社会問題化している教員未配置、教員不足の大きな要因として、学校での異常な働き方が改善されずにきている点が指摘されている。こうした過酷な勤務環境を背景に、精神疾患で休職する教職員は、全国的に1990年代後半1,000人台から増加を続け、2008年度以降は5,000人前後で高止まりとなっている。</p> <p>子どもたちとじっくり向き合い、豊かな学びや成長を保障するためにも、教職員の心身の健康が保たなければならない。精神疾患発症に至る流れとして、「課題の山積」「山場の集中」「優先順位の錯そう」「有効な支援の不足」という指摘もあり、こうした事態をつくらないためにも学校における教職員の労働安全衛生管理体制の整備が重要となっている。</p> <p>ア 市長部局における労働安全衛生体制について</p> <p>(ア) 市長部局における中央安全衛生委員会をもつ松江市安全衛生管理体制の活動の成果、課題、今後の対策について問う。</p> <p>イ 学校現場における労働安全衛生体制について</p> <p>松江市立学校衛生委員会等設置要綱によれば、教職員50人以上の学校では衛生委員会を、50人未満の学校では衛生懇話会を設置することになっている。</p> <p>(ア) 衛生委員会、衛生懇話会の設置状況、開催状況、審議内容、活動の成果、課題などについて市はどのように把握され対応されているのか見解を問う。</p>			

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	舟木 健治 (個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目	質問要旨			
2 教職員の労働安全衛生体制について	<p>(イ) 市全体としての取組が必要な課題について協議し、市長部局の中央安全衛生委員会に相当する体制、例えば総括学校衛生委員会が必要ではないか見解を問う。</p> <p>ウ 教員不足を解消する独自の手立てについて</p> <p>(フ) 日本共産党は、教員不足を解消する独自の手立てとして、働き方改革以外では、教育委員会事務局で働いている教員を教員不足の学校に期限を決めて派遣することなども政策提起している。子どもたちの学習権保障の責任を果たすため、県教育委員会との協議をご検討されるお考えはないか見解を問う。</p>			
3 高齢者・障がい者等福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症第7波の状況について</p> <p>ア 施設利用者は軽症でも原則入院という対応がとられているのか。入院できず、施設内で療養されたケースはなかったか問う。</p> <p>イ 重症化リスクの高いこうした施設でのクラスター発生を予防するため、松江としてどのような対策をとられているか問う。</p> <p>(2) クラスター発生防止対策及び発生時対応への支援について</p> <p>ア 高齢者施設、障がい者施設でのクラスター発生を防ぐために、頻回な定期的PCR検査の実施、例えば週1回のPCR検査の松江市としての公費負担や検査キットの配布などの支援をする考えはないか問う。</p> <p>イ 保健所業務がこれだけひっ迫している中での連日のクラスター発生に対し、感染者が発生した施設への指導・援助体制は十分に取られているのか。迅速な対応を取れない状況に陥ってはいないか現状を問う。</p> <p>ウ 市として施設のコロナ対策上の困りごとをサポートする窓口は設けられているのか。設けられていなければ、今後の新たな感染拡大にも備えて設ける考えはないか見解を問う。</p> <p>エ 今後の第8波、9波に備えて、クラスターに対応した施設の経験を共有し、効率的な対応を周知すべく、施設への研修を行ったり、必要に応じて随時活用できる経験をまとめたサイトの立ち上げなどに取組みましたりしてはどうか見解を問う。</p>			

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

順序	議員名	三島 明	(個人質問) (一括方式)	質問日 (予定)	9月14日
質問項目	質問要旨				
1 市域内のバランスのとれた発展について	<p>(1) 松江市においても中心部と周辺部の人口差が拡大し「一極集中」が加速する傾向がある。市は、医療や福祉施設、商業施設などの日常生活サービス機能や住居を一定程度まとめて立地し、市街地と集落などの既存コミュニティを交通などで結ぶ、「市域内のバランスのとれた発展」を目指した「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成を掲げている。市の描く「市域内のバランスのとれた発展」についてご見解や計画を伺う。</p> <p>(2) 大野や秋鹿では学校が統合し、地域から学校がなくなる。学校がなくなれば子育て世代の定住がより難しくなる。行政として地域の方の定住を後押しできるように、過疎法の適用がない大野や秋鹿、また八雲や本庄、忌部などの地域においても、その地にあった地域支援を考える人材を配置する必要があるのではないかと考えるが、地域支援のご見解を伺う。</p> <p>(3) 放課後デイサービスは旧市内に集中し、周辺地域には事業所がない地域もある。同じ松江市内でありながら、地域によって福祉の恩恵にあずかれないということは望ましくないが、送迎サービスがあるとはいえ、専門的、療育的な関わりを必要とされる方が、事業所に遠いことが理由で利用しにくいという現状はないか、その現状について伺う。</p>				
2 松江の文化の担い手について	<p>(1) 文化と言っても形あるものから形のないものまで、大変に幅広い。「市民生活に根づく茶の湯文化」一つとってみても、陶磁器、木工芸、八雲塗などの漆芸、生け花、着物、和菓子、日本酒、和食、建築、造園等々、茶の湯文化に関係する分野は数えれば限りない。</p> <p>松江市において、茶道、和菓子、出雲和紙、楽山窯や袖師窯などの陶芸、また木工芸、八雲塗など、その技術を継承される方々、そういったことに携わっている方々もしくは団体がどのくらいおられるのか伺う。</p> <p>(2) 分野によって多い少ないがあろうかと思うが、こういった文化を担う人々をどのように支援し、また育成していくのかご見解を伺う。</p> <p>(3) 「市民とともに育む文化芸術活動」の柱の中の音楽の分野について、松江市には松江在住、また松江出身のクラシック音楽家はどのくらいおられるのか伺う。</p> <p>(4) 菅田庵は茶の湯文化を象徴する施設である。松江にある茶の湯文化により継承されてきた陶磁器、木工芸、漆芸、生け花、着物、日本酒、和食、建築、造園など様々な芸術文化との関連を深めるような取組が必要であると思う。菅田庵でこういった芸術文化との関連をもたせた本格的な茶会を開くことを目的に取り組むことが大切だと考えるがご見解を伺う。</p>				

一般質問通告事項【9月14日(水)】《3日目》

令和4年第4回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
順序 17 議員名 三島 明 (個人質問) (一括方式) 質問日 (予定) 9月14日	
2 松江の文化の担い手について	(5) 以前、松江市総合文化センタープラバホールには芸術監督として、市が雇 用した音楽の専門家が在籍しておられた。芸術監督はその業務として、子ども たちへの指導や山陰フィルハーモニー管弦楽団などの愛好家への指導、中央との パイプを生かした様々な分野の指導者やコンサートなどの招聘を専門的に行って きた。 プラバホールが2年後にはリニューアルされようとする今、芸術監督の設置、人選 がまず第一に必要なではないか。このことは、パイプオルガンの最大限の活用、小 中学校でのクラシック音楽指導、スクールコンサートなどにつながっていく。松江 市の音楽文化の趨勢が決まるといっても過言ではない。芸術監督設置に対するご 見解を伺う。